

2020 年度

名古屋大学大学院経済学研究科
博士後期課程〔高度専門人特別選抜〕
学生募集要項

名古屋大学大学院
経済学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
☎ (052) 789-2357 (入試担当)
経済学部・経済学研究科ホームページ
<http://www.soec.nagoya-u.ac.jp>

◇◇◇◇ アドミッション・ポリシー ◇◇◇◇

優れた政策提言能力と卓越した倫理観を持ち専門的経済人のリーダーとして指導的役割を發揮できる人材の育成のために、基礎的な語学力とその運用能力、基本的な問題分析能力とそのための学術的基礎をもつ学生の入学を希望します。

◇◇◇◇ 教育目標 ◇◇◇◇

応用能力

研究能力

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

◇経済学部・経済学研究科ホームページ

URL <http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/>

◇連絡窓口

経済学研究科入試担当 ☎052-789-2357

2020年度
名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程〔高度専門人特別選抜〕
学生募集要項

1. 募集の要旨

名古屋大学大学院経済学研究科においては、これまで博士後期課程の募集対象を、修士学位を取得したのち、引き続き大学院において研究に従事し、博士学位を得て研究者を目指す者としてきた。2000年度からはこれに加えて、修士学位取得後、学界、実務界において活躍し、経済または経営分野の高い学識と豊富な教育・研究・調査経験を有する者に対しても広く門戸を開放し、在職のままで大学院博士後期課程において研究に従事することにより博士学位を取得できるよう、特別選抜を実施している。

なお、修士学位を得ていないが、学界・実務界において経済または経営分野の修士学位を得た者と同等の研究実績を積んでいる者もこの特別選抜の対象となる。

2. 出願資格

各種研究機関、教育機関、企業などに勤務する経済または経営分野の研究者などで、所属長の許可を受け、入学後も引き続きその身分を有する者で、次の各号の一に該当する者

- (1) 本学大学院または他の大学院で修士の学位又は専門職学位を授与された者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年3月31日までに24歳に達する者

※※ 上記出願資格(6)、(7)により出願する者は、資格審査を行うので2019年10月11日（金）までに経済学研究科入試担当に問い合わせること。

3. 募集人員

社会経済システム専攻 若干名 産業経営システム専攻 若干名

4. 出願書類受付期間

2019年11月1日（金）から2019年11月7日（木）午後4時までに書類を郵送必着のこと。

郵送先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4（700） 名古屋大学経済学研究科入試担当

5. 出願書類

※本研究科からの交付用紙は、経済学部・経済学研究科ホームページ（<http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/>）からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえご利用ください。

- (1) 志願書 用紙は本研究科から交付する。
 - (2) 履歴書 用紙は本研究科から交付する。
 - (3) 受験票 受験票は、本人あて2019年11月8日（金）に発送する。
 - (4) 写真票 写真は3×4cm、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したもの。
 - (5) 論文審査結果通知用封筒 長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に出願者本人の受信場所、郵便番号、氏名を記入し、速達用切手（362円）を貼ること。
 - (6) 受験票送付用封筒 長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に出願者本人の受信場所、郵便番号、氏名を記入し、速達用切手（362円）を貼ること。
- (注) (5)(6)について、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新たな郵便料金が適用される。
- (7) 通知用シール 本研究科所定の用紙に出願者本人の住所、氏名を記入すること。
 - (8) 修士論文またはそれに相当する論文3部および研究報告書3部（複写で可）
(なお、他に参考論文各3部を添えることができる。)

①修士論文の内容が経済学あるいは経営学に関するものでない場合、または修士論文を書かないで修士の学位又は専門職学位を取得した場合には、経済学あるいは経営学に関するテーマで修士論文に相当する論文を作成する必要がある。

②研究報告書(1,600字程度、英語の場合には800語程度)には、次の4点を明確にすること。

- ア. 提出論文の目的
- イ. 論文の内容の概略
- ウ. 関連する他の研究との比較
- エ. 論文の残された問題

- (9) 研究業績リスト
および主要業績各3部
研究業績のうち主要業績3点を指定すること。(ただし、本人の貢献箇所を明確にしてあること。)また、指定した業績(論文、著書等)をそれぞれ3部提出すること。(複写可)
- (10) 学業成績証明書
最終出身大学(学部)が作成、厳封したもの。
- (11) 学業成績証明書
博士前期課程または修士課程におけるもので、厳封したもの。
- (12) 承諾書
所属長からの受験及び入学後も在職のまま研究に従事することを認める旨の記載のある承諾書。用紙は本研究科から交付する。
- (13) 修士学位取得証明書

6. 出願手続

- 1) 志願者は前項の出願書類に検定料30,000円を添え、本研究科に郵送すること。検定料は郵便局において30,000円の普通為替を作成し、郵便為替の指定受取人欄等には一切記入しないこと。
 - 2) 出願書類は、封筒に「経済学研究科博士後期課程入学願書在中」と朱書して、**書留郵便**で2019年11月7日(木)午後4時まで必着するよう本研究科あてに送付すること。
 - 3) 出願手続き後は、出願書類の変更は認めない。また、検定料の払戻しは行わない。
- なお、出願前に指導を希望する教員へ相談の上、出願すること。

7. 選抜の方法、日時、場所

1) 論文審査

提出された書類に基づき、第一次選考を行う。

論文審査の結果は、2019年12月11日(水)午後6時(予定)経済学部・経済学研究科玄関前に掲示発表するとともに、12月12日(木)以降経済学部・経済学研究科ホームページに掲載する。同時に全員に可否を通知する。ただし、12月19日(木)までに可否通知が届かない場合には、名古屋大学経済学研究科入試担当へ連絡すること。
(電話 052-789-2357)

2) 口述試験

2020年2月18日(火)午後1時から本研究科で行う。

(集合時間 12時30分)

集合時間から30分以上遅刻した場合は、受験を認めない。

口述試験では、これまでの研究成果を中心に幅広く学力を問う。

8. 合格者発表

- 1) 日時 2020年2月19日(水)午後6時(予定)
- 2) 場所 経済学部・経済学研究科玄関前
- 3) 通知 掲示発表するとともに、2月20日(木)以降経済学部・経済学研究科ホームページに掲載する。同時に、全員に可否を通知する。

9. 学生納入金(入学料・授業料等)

入学料 282,000円(予定額)

授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

なお、入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用される。

10. 個人情報の取り扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に管理する。
- (2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続業務を行うために利用する。
- (3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。また、入学者についてのみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

11. 障害のある者等の出願

障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者は、2019年10月11日（金）までに、下記(1)～(3)を添えて、その旨を経済学研究科入試担当へ申し出ること。

- (1) 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式任意、A4版用紙とすること。）
 - (2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写も可）。
 - (3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。
- なお、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

12. その他

- 1) その他詳細については、本研究科入試担当に問い合わせること。郵便で問い合わせるときは、返信用封筒（82円切手を貼付し、あて名を明記したもの）を同封すること。
- 2) 入学手続きについては、合格決定後本人に通知する。（入学手続き：2020年3月下旬予定）

2020年度受入可能教員リスト(博士後期課程) List of the faculty who can accept students. (Doctoral Program)

社会経済システム専攻 (Socio-Economic System)

氏名/Name		専門分野/Research Field	
安達 貴教	ADACHI, Takanori	産業組織論、競争政策論	Industrial Organization, Competition Policy
伊藤カンナ	ITO, Kanna	西洋経済史	Economic History
隠岐 さや香	OKI, Sayaka	科学技術史、社会思想史	History of Science, History of Social Thought
工藤 教孝	KUDOH, Noritaka	マクロ経済学	Macroeconomics
小堀 聡	KOBORI, Satoru	日本経済史	Japanese Economic History
齊藤 誠	SAITO, Makoto	金融・ファイナンス、マクロ経済学	Money/ Finance, Macroeconomics
清水 克俊	SHIMIZU, Katsutoshi	金融論	Banking, Finance, and Monetary Economics
園田 正	SONODA, Tadashi	農業経済	Agricultural Economics
立石 寛	TATEISHI, Hiroshi	数理経済学	Mathematical Economics
玉井 寿樹	TAMAI, Toshiki	公共経済学	Public Economics
田村 彌	TAMURA, Wataru	情報の経済学	Information Economics
中村 さやか	NAKAMURA, Sayaka	医療経済学	Health Economics
鍋島 直樹	NABESHIMA, Naoki	政治経済学	Political Economy
根本 二郎	NEMOTO, Jiro	計量経済学	Econometrics
福澤 直樹	FUKUZAWA, Naoki	西洋経済史	Occidental Economic History
藤田 真哉	FUJITA, Shinya	政治経済学	Political Economy
萬行 英二	MANGYO, Eiji	開発経済学	Development Economics
柳原 光芳	YANAGIHARA, Mitsuyoshi	財政学	Public Finance
柳瀬 明彦	YANASE, Akihiko	国際経済学	International Economics

産業経営システム専攻 (Industrial Management System)

氏名/Name		専門分野/Research Field	
犬塚 篤	INUZUKA, Atsushi	経営組織論	Organization Management
小沢 浩	OZAWA, Hiroshi	管理会計、生産管理	Cost Management, Production Management
坂口 順也	SAKAGUCHI, Junya	管理会計	Management Accounting
高橋 秀徳	TAKAHASHI, Hidenori	ファイナンス	Finance
角ヶ谷 典幸	TSUNOGAYA, Noriyuki	財務会計	Financial Accounting
中島 英喜	NAKASHIMA, Hideki	ファイナンス	Finance, Portfolio Theory
中屋 信彦	NAKAYA, Nobuhiko	比較経営論	Comparative Management
野口 晃弘	NOGUCHI, Akihiro	財務会計	Financial Accounting
樋野 励	HINO, Rei	生産管理、作業計画	Production Management, Scheduling
宮崎 正也	MIYAZAKI, Masaya	経営戦略	Management Strategy
山口 景子	YAMAGUCHI Keiko	マーケティング・サイエンス	Marketing Science